令和6年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

国道１４５号（原町工区）電線共同溝事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化し電柱を撤去します

地元の声

・近くに災害拠点病院があるので、災害時も支障なく通れる道路にしてほしい。（医療関係者）
・西吾妻への重要な道路なので、災害時も支障なく通れる道路にしてほしい。（地元住民）

事業前

◆地震時等に電柱が倒壊し、通行の障害となったり、断線等で垂下がった電線が歩行者に接触する等のおそれがあります。

事業前の状況

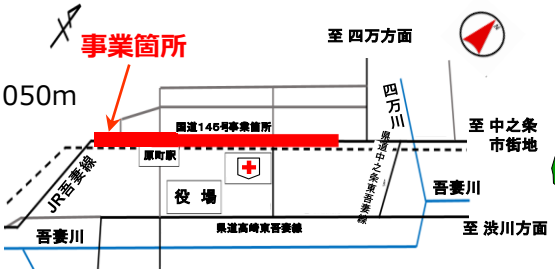
事業後

◆電線を地中化して電柱を撤去することで、電柱の倒壊による交通の寸断がなくなるとともに、良好な都市景観が創出されます。

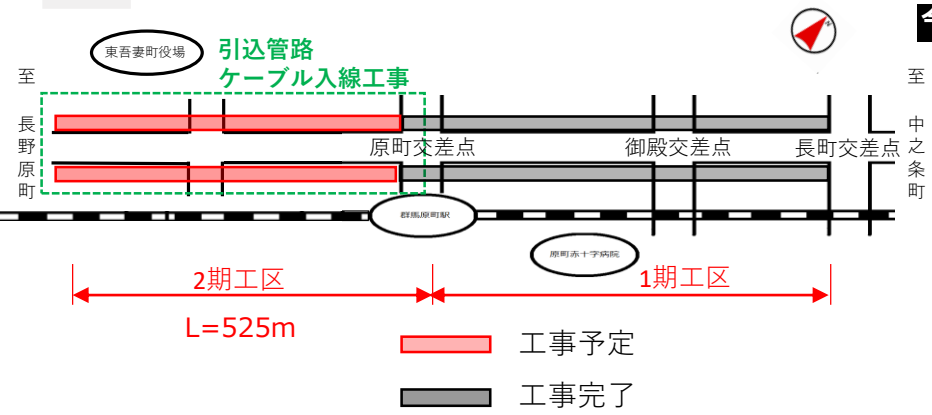
事業後のイメージ（完了工区）

事業の概要

- 事業箇所：東吾妻町大字原町
- 事業内容：電線共同溝整備　延長　1,050m
- 事業期間：平成29年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和６年度は、2期工区の民地への引込管路およびケーブル入線工事（委託工事）を実施し、舗装本復旧を行います。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――● 事業完了